

# 北九州市自殺対策計画 進捗状況表 【一部抜粋】

いじめを苦にした子どもの自殺の予防								
事業No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	取組状況	現状の課題	今後の取組/達成目標	担当所管課	
11	「24時間子ども相談ホットライン」事業	再掲	-	-	-	-	子ども家庭局子ども総合センター	
児童虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援の充実								
事業No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	取組状況	現状の課題	今後の取組/達成目標	担当所管課	
11	「24時間子ども相談ホットライン」事業	再掲	-	-	-	-	子ども家庭局子ども総合センター	
97	犯罪被害者等支援事業	犯罪被害に遭った被害者やその家族・遺族が、元の平穏な生活を取り戻すことができるように支援するため、福岡県・福岡市と共同で「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」を設置しています。また、性暴力に特化した被害者救済の施策として、平成25年7月から福岡県・福岡市と共同で「性暴力被害者支援センター・ふくおか」を設置しています。	福岡県・福岡市・本市で共同設置している「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」及び「性暴力被害者支援センター・ふくおか」において、電話や面談による精神支援や各種手続きの同行支援など、被害者等に寄り添った各種施策を実施した。加えて、両センターに関する広報啓発活動を行った。また、被害者支援の総合的な推進のため「犯罪被害者等支援庁内連絡会議」を開催し（書面開催）、各種窓口間の連携強化を図った。	b:取組中【事業の方向性：継続又は拡充】	福岡県における「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」、「性暴力被害者支援センター・ふくおか」の認知度は徐々に増加傾向にあるが、依然50%以下の状態であるため、継続した広報啓発が必要。	被害者に寄り添った各種支援の継続実施に加え、引き続き支援センターの周知を図る。	総務市民局安全・安心推進課	
115	産婦健康診査事業	令和2年10月から、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、概ね産後1か月以内の産婦に対する健康診査の費用を助成することで、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠前から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を整備します。	・産婦健康診査受診者数（延）：5,213名	b:取組中【事業の方向性：継続又は拡充】	関係機関と連携し、継続した支援が必要。受診結果が里帰り出産時を含め、産後初期段階における支援が必要とする産婦がすみやかに把握でき支援できる環境整備が必要。	健診結果よりフォローが必要な産婦に対して、医療機関等と連携し適切な支援を実施する。	子ども家庭局子育て支援課	
生活困窮者への支援の充実								
事業No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	取組状況	現状の課題	今後の取組/達成目標	担当所管課	
107	総合相談会の定例開催	自殺予防においては、心の悩みを抱える人たちの背景にある様々な課題やリスクを解決するために、各関係機関相互の連携が必要となります。複雑・困難な背景を抱える人々に、ワンストップで相談の解決への道筋をたてることで、相談者の自殺リスクの軽減を図ることや、関係機関の連携体制の強化を目的とした総合相談会を定期的開催し、相談者を丁寧にフォローしてまいります。	・弁護士、司法書士、臨床心理士、精神保健福祉士等の専門職がワンストップで応じる総合相談会を開催 開催回数：6回（5/25、7/27、9/30、11/16、1/27、3/28） 相談件数：16件	b:取組中【事業の方向性：継続又は拡充】	自殺を考えるほど悩んでいる方は、複雑・困難な状況のなかで、どこに相談すれば良いか分からない事が多いといわれている。また、このようなことへの支援においては、支援者同士の連携が重要になると考えている。	総合相談会は、相談者の満足度が高く、相談員にとっては、他の専門職の共通理解と連携を図る機会となる等の成果があった。	保健福祉局精神保健福祉センター	
二つ状態等の若者の自立支援								
事業No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	取組状況	現状の課題	今後の取組/達成目標	担当所管課	
23	北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」の運営	社会的ひきこもりに関する相談や様々な情報、活動場所を提供しています。（社会的ひきこもりとは：社会的な参加の場がせばまり、就職や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態）	・電話・来所・訪問による相談支援を実施した。 延べ相談件数：2,119件 ・フリースペースを開設し、居場所の提供を行った。 フリースペース開催回数：110回（オンラインフリースペースを含む）	b:取組中【事業の方向性：継続又は拡充】	ひきこもり支援は様々な方面からの支援が必要であることが多く、多種・多様な機関の連携に基づく支援の継続が必要である。	引き続き、電話相談や来所相談、訪問支援、フリースペースを実施し、利用者のニーズに合った支援を行うとともに地域ネットワーク作りの拡大を図る。	保健福祉局精神保健福祉センター	
22	子ども・若者応援センター「YELL」の運営	再掲	-	-	-	-	子ども家庭局青少年課	
3 適切な精神科医療を受けられるようにする								
うつ病の受診率の向上								
事業No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	取組状況	現状の課題	今後の取組/達成目標	担当所管課	
49	かかりつけ医こころの健康対応力向上研修	再掲	-	-	-	-	保健福祉局精神保健福祉センター	
69								

# 北九州市自殺対策計画 進捗状況表 【一部抜粋】

5 民間団体との連携を強化する								
地域における連携体制の確立								
事業No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	取組状況	現状の課題	今後の取組/達成目標	担当所管課	
93	北九州市自殺対策連絡会議、自殺対策庁内連絡会議の開催	北九州市自殺対策連絡会議では、おもに市内の関係機関・団体により、本市における総合的な自殺対策に関する事項の連絡調整や協議を行うとともに、市の全部局室の幹事課が集まる自殺対策庁内連絡会議において、庁内の横断的な連携を図っています。今後、本計画の進捗状況や施策の評価による見直し等を協議し、効果的な自殺対策事業のあり方を検討していきます。社会全体で自殺対策に取り組む体制を強化していくため、北九州市自殺対策連絡会議の構成団体が行っている地域の自殺対策に関連する活動状況をとりまとめ、広く情報提供することとします。	・連絡会議：2回開催（4/17、11/14） ・庁内会議：2回開催（5/10、11/22）	b:取組中【事業の方向性：継続又は拡充】	効果的な自殺対策事業のあり方を検討するため、関係機関との連携をより一層図っていく必要がある。	引き続き、関係機関・団体間の取組の状況共有を推進するため、「関係機関・団体の取組状況一覧票を作成し、それを市ホームページ等で公表する	保健福祉局精神保健福祉センター	
22	子ども・若者応援センター「YELL」の運営	再掲	-	-	-	-	子ども家庭局子ども若者育成課	
109	生きるための支援を考える会	市内の各種相談支援機関・窓口の実務者が集まり、自殺の要因となり得る問題に対する相談窓口の相談状況、支援状況について情報交換を行うとともに有効な連携の在り方を検討します。	・開催回数：2回(7/4、2/1) ・参加延人数：のべ7名	b:取組中【事業の方向性：継続又は拡充】	自殺の要因となりうる様々な相談に適切に対応するためには、相談者同士の横の連携が重要である	各種相談支援機関・窓口の実務者（専門職）によってワンストップで悩みごとに対応する総合相談会のあり方を検討する。	保健福祉局精神保健福祉センター	

III 事後対応 遺された人の苦痛を和らげる								
1 遺された人への支援を充実する								
学校、職場での事後対応の促進								
事業No.	事業名	事業概要	令和5年度実績	取組状況	現状の課題	今後の取組/達成目標	担当所管課	
15 105	スクールカウンセラー活用事業	再掲	-	-	-	-	教育委員会生徒指導課	

※事業No.は、北九州市自殺対策計画 本冊に掲載している事業のNo.となります

※取組状況について  
a:事業目標達成により廃止  
b:取組中【事業の方向性：継続又は拡充】  
c:取組中【事業の方向性：縮小又は廃止】  
d:準備段階  
e:未着手  
f:事業見直し